



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

# The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

### 主題 (2015-2016)

- 国際会長(IP) Mr. Wichian BOONMAPAJORN (Thailand)  
"Mission with Faith" 「信念あるミッション(使命・目的)」
- アジア会長(AP) Mr. Edward ONG (Singapore)  
"Through love Serve" 「愛を持って奉仕しよう」
- 西日本区理事(RD) 遠藤 通寛(大阪泉北)  
「あなたならできる! きっとできる」 "You can do it! Yes, you can!"  
副題: -生きる しなやかに さわやかに- Live flexibly and refreshingly-
- 六甲部部长(DG) 進藤啓介(神戸クラブ)  
「『YMCAと共に』 「人を育て・地域に仕える」
- 西宮クラブ会長(CP) 浅野 純一  
「幸せな気持ちになれるクラブの活動」

★ 2015年9月 西日本区強調ポイント "Menettes"  
「メン、メネットの皆様、たくさんのメネットに例会参加を呼び掛けてください。  
楽しい例会にしましょう。

遠藤 典子 メネット事業主任

**我らのモットー:**強い義務感を持つとう、義務はすべての権利に伴う  
To acknowledge the duty that accompanies every right !

2015年9月第809号  
《69期3号》  
Since 5.17.1948

スポンサークラブ  
・大阪クラブ  
DBC 締結(2007)  
・近江八幡クラブ  
・広島クラブ

クラブ主役員  
会長 浅野 純一  
副会長 西山 茂夫  
直前会長 山口 吉郎  
書記 廣瀬 一雄  
書記 山口 吉郎  
会計 足立 康幸  
会計 岩田 健司  
監事 丸山 悦治  
担当主事 宗行 孝之介  
部Yサユース主査山口吉郎

今月の聖句 「兄弟たちよ、わたしたちは願ひする。どうか、貴方がたの間で勞し、主にあつて貴方がたを指導し、かつ訓戒している人々を重んじ、彼らの働きを思つて、特に愛し敬いなさい。互いに平和に過ごしなさい」 テサロニケ人への第一の手紙 第五章 12~13節 宮地特別メネット選

### 2015年9月第一例会ご案内

日時 9月11日(金) 19時~21時

会場:西宮YMCA保育園3階

ドライバー:宮地特別メネット、山口(吉)ワイス  
(進藤六甲部長公式訪問)

1. 開会点鐘 浅野会長
2. ワイズソング 一同
3. 今月の聖句 宮地特別メネット
4. ゲスト・ビジター紹介
5. 食前感謝 山口(政)ワイス
6. 会食
7. 六甲部長メッセージ
8. メネット事業主任メッセージ
9. ゲストスピーチ 大町 佳代氏  
「アンゴラでの国際支援協力活動」
10. お誕生日お祝い
11. ワイズ・YMCAニュース 連絡事項
12. 閉会点鐘 西宮クラブ浅野会長

### 【8月例出席状況】

|               |               |
|---------------|---------------|
| 第1例会(8/22土)   | 第2例会(8/28金)   |
| メン 17名(内MU3名) | メン 12名        |
| メネット・コメント 10名 | メネット・コメント 1名  |
| ゲスト・ビジター1名    | ゲスト・ビジター 0名   |
| 合計 25名        | 合計 13名        |
| 出席率 77.3%     |               |
| 在籍数 22名       | (累計出席率 88.6%) |

### 【お誕生日】

岩田健司メン(9/1)、丸山美巴メネット(9/6)、  
宮地京子特別メネット(9/17)、岡田佑一郎メン(9/21)

### 【ファンド・BF累計】8月

ニコニコファンド ¥8000 累計 ¥11000  
Brotherhood Fund (目標 345\$) ¥0 累計 ¥5700  
東日本大震災 Fund (目標 ¥27600) ¥0 累計 ¥3800  
BF使用済み切手 (前期 ㊦) 今期 ㊦

## 【会長メッセージ】

浅野会長

教員時代、授業やクラス担任などと同じぐらい取り組まなければならなかったのがサッカー部の顧問でした。サッカーは殆ど経験がなかったのですが、最初の赴任校の北条高校(加西市)で、サッカー部を担当しました。今ではサッカーの指導者は多くいるのですが、当時(昭和52年)は少なく、仕方なくとの感じです。部活動の顧問は技術的な指導の義務はないのですが、生徒に期待される分野で、私としては大きな負担で、土日の多くを費やし、しかも無報酬の活動でした。私が担当したサッカー部は、丁度サッカー人気が出てきたころで未経験の生徒が多く入部してきて、中にはすぐれた素質を持つ生徒も少なからずいました。私は教員になる以前に教員免許取得を目的として、2年間、アルバイトをしながら立命館大学夜間部に籍を置き、京都で生活をしていました。そこでK大学のサッカー部の選手であったU君と知り合いました。U君は関西学生リーグの2部で優勝し、1部に昇格させたチームの主将で、かなりの手腕を発揮していました。そのU君が私の高校の4泊5日間の夏合宿に来てくれて指導してくれたのです。早朝練習では私が寝ている時から練習に出かけます。内容は基礎ばかり、生徒が最も嫌う練習ばかりです。しかし、彼の情熱と正しい教えで、生徒は一生懸命ついていきました。そのチームはインターハイ県大会でベスト16に進出しました。他校の指導者から良いチームと言われたときはうれしく思いました。部にはサッカー未経験者ですが素質抜群のA君がいました。A君は現在では体育の教員となりサッカーの指導者となっています。彼は兵庫教員チームに加わり、天皇杯で勝ち進み、ラモスのいる読売クラブと試合をしました。そのA君は「最初の夏合宿で徹底的に基礎を教わったのが良かった」と言いました。彼がふと私に漏らした「先生がもっとサッカーのこと知っていてくれたら」との言葉には、私の心に突き刺さりました。ベスト16に進出した時も私がしっかりいたら8にも行けていたことはわかっていました。指導者の大切さをU君の指導を通して痛感させられたのですが、U君には大変感謝するとともに、私の力のなさを大いに感じさせられました。

人は皆豊かな素質を持って生まれてきます。しかし、生きて行くうえで、どれだけ素質を生かせるのか、殆ど人は持っているものに気が付かずに生きて行きます。本人の努力が大切なのは言うまでもありませんが、あらゆる分野で指導者は重要です。学校の部活動は多くの方がスポーツ、芸術活動などを楽しむのに大きな役割を果たし、教育の重要な一翼を担っています。しかし、一方で所属する学校

に指導者がいない場合が多いのです。

なお、U君ですが、彼は外交官となり、現在はサッカーの盛んな国の大使として赴任しています。彼の挨拶状に、あこがれの国で仕事できることの喜びと国家間の友好に尽くしたいとのことが記されています。重責を果たされることを祈っています。

## 【ワイズニュース】

浅野会長

- 9月 5日(土) 六甲部会 15:00 六甲荘  
12日(土) 阪和部会 12:30  
奈良商工会議所 5階大ホール  
19日(土) 中西部会 13:00  
ホテルグランヴィア大阪  
26日(土) 中部部会 12:30 名古屋市公館  
10月 10日(土) びわこ部会 11:00  
休暇村 近江八幡  
17日(土) 九州部会 13:00  
阿蘇プラザホテル  
31日(土) 瀬戸山陰部会 カトリック姫路  
11月 1日(日) 京都部会 16:00  
ホテルオークラ京都  
14日(土) 西中国部会 13:00  
コンフォレスト湯来

## 【第一例会報告】

ドライバー:石井ワイズ、長井ワイズ

8月22日(土)、17時頃より六甲山YMCAにて、神戸クラブ、芦屋クラブ、西宮クラブの合同例会を開催しました。西宮クラブからは、メン14名、メネット9名、コメット1名、ゲスト1名が参加。神戸クラブはゲストが多く50名を越え、総勢80名を越える一大例会となりました。

第一部は、神戸クラブ菅原会長がドライバーとなり、例会形式で進めた後に、プロ歌手によるミニステージです。菅原会長の手配で本格的な音響装置がセットされ、ベサム一ツヨがお得意のパウリーノ氏、ブラジル在住ボサノバ歌手のアメリア氏、関西オペラ界プリマドンナ若林真美氏に加え、元理事の京都パレスクラブ岡野ワイズが特別参加されました。さすがのプロ歌手の歌声には参加の皆さんはうっとりでした。続いて、芦屋クラブ、西宮クラブのカントリーダンスチーム スパイシーエンジェルスのエ

キシビションタイムで盛り上がりました。

第二部は、キャンプファイヤーです。ドライバーは石井ワイズ、長井ワイズ、ギター演奏は神戸クラブ 鶴丹谷ワイズ、友情出演の神戸ポート大野ワイズです。「遠き山に陽は落ちて」を歌いながら入場し、ファイヤー点火は、森の女神様が運んだ火を3クラブ会長がたいまつに受け取り、合同点火しました。「3クラブの心が一つとなるように」との演出をしました。女神様の登場に参加したコメント達が大喜びだったそうです。「燃えろよ燃えろ」の歌声で火が大きくなり、鶴丹谷リーダー、長井リーダー、石井リーダーのゲームと懐かしい歌(おじいさんの古時計、あの素晴らしい愛をもういちど、船乗りの夢等々)とともにカントリーダンスを全員で踊りました。ファイヤーの火も小さくなった頃、オペラ歌手の若林さんのアメージンググレイスの歌声に神秘的な時間を共有しました。最後は、浅野会長の閉会点鐘で散会となり、三々五々下山となりました。

キャンプファイヤーは、キャンププログラムの一大イベントです。大人数でのキャンプでしか実施することが難しく、なかなか体験できるものではありません。1つの火を囲んで歌ったり、踊ったりして友情を育みます。炎が落ちて、真っ赤になった薪を見ると「薪のような人になろう」の歌を思い出します。

しまった、この歌を歌うのを忘れていた。。。



## 【YMCA ニュース】

宗行 孝之介ワイズ



今年は台風の当たり年かもしれませんが、それ以上に本当に酷暑の夏でした。みなさまお変わりございませんか？YMCAの夏プログラムもほぼ終盤にさしかかってきました。ワイズの皆さまのお支えも頂戴しながら何とか今年も大きな事故等がなく済みそうな気配です。

近年、YMCAの活動は多種多様に展開されており、何が主軸なのかとも言われたりしますが、やはりキャンプ事業は欠くことのできないものです。みな

さまには釈迦に説法でしようが、YMCAは子どもたちの課題に答えてプログラムを設定し、しかし、そのリーダーシップを主に学生ボランティアに求めています。一般のボランティアと彼らとの決定的な違いは人格にしても技術にしてもまだ「発展途上」のリーダーシップであるということです。そこにユースワーカーたる主事が関与し、青年の小さなグループそのものが学びの素材となります。確かに子どもたちの世話をするという側面はあるものの、「リーダー会」という小集団は1年生のリーダーにとって何物にも変えがたい成長の場です。そこで、技術をまなび、人間関係を学び、そして子どもたちと相まみえるとき、子どもたちとリーダーとの相互作用が起こります。「世話をする」「世話をされる」、「教える」「教わる」といった一方通行の学びから、自分たちがともにキャンプのグループの一員であって、リーダー、キャンパーというのは単なる属性であると気づいたとき、そこには双方向性の学びあいが生まれます。ここで初めてリーダー諸君は「やってあげている」ということから「子どもたちから学ぶ」あるいは「ともに学ぶ」ということを実感するのです。こんな成長をもたらしてくれるYMCAキャンプ。今後も大切にしていきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

## 【リーダー会便り】

宮脇 知紘リーダー

夏休みが明け、久しぶりのYMCAでの活動にメンバーもリーダーも少し緊張していると思います。

キッズの9月例会では、“仁川でびしょ濡れ大作戦”というテーマでキッズ全員が自然の中で、様々な発見やグループの関わりなどを通じながら、楽しく過ごしていきたいです。

ジュニア9月例会は仁川へ行って川遊びをします。7月にも夙川の下流で川遊びをしたので、今回は少し上流に上って活動を行います。水の流れや生き物の違いなどに気づくことが出来たらいいと思います。また、夏休み明けの久しぶりの活動なので、今までよりも子どもたちの意識や活動内容を高めていけるプログラムにしていこうと考えています。

シニア9月例会は、兵庫県立海洋博物館でカヌー・カヤックを行う予定です。各グループで、二人一組か三人一組になってカヌーを漕いだり、一人でカヤックを漕いだりします。それぞれが自分の役割を考え、お友達と協力しながら楽しめる例会にしたいと考えています。また、海に触れ合うことで、海に愛着をもち、自然を愛する態度を養えるような例会作りを目指していきたいと考えています。

## 【さんだクラブ、宝塚クラブ例会】

浅野会長

8月1日(土)午後7時からのさんだクラブの例会に参加しました。場所は安行メンが住職を務められる興聖寺です。さんだ駅から徒歩で十数分、上り坂ではほんの少しの頑張りが必要です。プログラムは鈴木凜太郎氏のピアノ演奏で、ショパンの「別れの曲」、「さくら」など5曲を演奏されました。氏はダウン症で重度の知的障害があり、右手は手首から先が欠損しています。お母さんが氏のピアノ演奏への取り組みについて曲の間に話されましたが、ピアノの練習を開始する時のこと、お母さんは左手で鍵盤をたたくようなことを想像し、またそうであったのですが、ピアノの先生から「右手は何しているの」と言われたのです。まさか両手で演奏することなど考えられなかったと語られました。大変な努力でこの5曲を物にされました。

そして、午後8時からは花火大会です。高台にあるお寺から見る花火は美しいものでした。さんだの花火は県下では4番目の規模だそうです。運転される方には悪かったのですが、電車で行ったものの特権、さんだクラブよりいただいたビール片手に「すごい」と何度も声をかけました。夏の夜の楽しい時間を過ごせたことに感謝！参加された方々は浅野の他、岡田ワイズ、メネット、西山ワイズ、メネット、濱美智子メネット、宮地特別メネット、山口まり子メネット、山本ワイズ、メネット、小野ワイズです。

8月12日(水)午後6時30分から、宝塚ホテルで行われた宝塚クラブの納涼例会に参加しました。同クラブの例会に参加したのは初めてのことで、日頃のクラブ活動の様子が垣間見ることができました。女性のメンが多いクラブで暖かい雰囲気の中で、障がいやを被っている方に寄り添った活動をされていますが、当日も多くの方が参加されていました。また山口県で開催された世界から集わられた世界ジャンボリー大会にデンマークから参加されたボーイスカウトでワイズメンズクラブの方も例会に参加されていました。宝塚クラブは英語のブリンも発行され、当日にも配布頂きましたが、国際的な交流にも力を入られているのがわかりました。なお、オークションが行われ、直前アジア会長の岡野ワイズが大活躍されていました。



## 【第26回 アジア大会報告】

廣瀬 一雄メン

連日 38度 39度の京都で開催のアジア大会に参加しました。山口政紀メンメネット、小野メン、山口吉郎メン、そして廣瀬メンメネットの6名が西宮からのメンバー。

小野メンは最近アジア大会へは精勤ですが、私は4年前の台湾での大会以来。当初は会場が京都なので車で行こうか、と考えていましたが、近江八幡の太田メンがホテルを押さえてくれましたので..。お陰で自宅と違い空調のよくきいた部屋で久しぶりに熟睡でき、満足。今回台湾からの参加者は108名。2年先のアジア大会はシンガポールでの開催予定ですが、来年の国際大会が実は台北で。さて、さて..。



初日の講演会・KeyNoteSpeechはDr. Mamoru Mohri。素晴らしい講演の後、質問タイム。限られた時間の中、2人の質問者。一人は上野メン。もう一人は島田メン。どちらも皆さんご存知の芦屋クラブの方。お尋ねの向きは宇宙船での排便、排尿のリサイクルについて。機会があれば答えをメンにお訊ねください。

初日の夜は直前アジア地域会長ナイト。皆さんご存知の土佐堀の岡野メン。おもてなしは京都 kagaiのきれいどころ。同じテーブルには7月神戸ポートに入会されたばかりの井上総主事も。

2日目は午後エクスカージョン。八幡、広島、呉の皆さんはそれぞれ。宇治の平等院に行きましたが、なんとか酷暑のなか生き延びて？夜のアジア会長ナイトに出席できました。ユースのパフォーマンスが始まる前のフロアで勢揃い。残念ながら六甲部からのユースが誰かは最後まで確認できませんでした。



## 【西日本区だよりー13】



EMC事業主任 小野 勲紘

### 第1回EMC事業委員会

いよいよ「次期」の肩書が外れ、本番の舞台を迎えました。早速7月4日(土)は午前からEMC事業委員会。新大阪から少し歩いて木川の西日本区事務所に向かう。10時きっちりに開始。河原直前EMC事業主任(京都トップス)、山藤次期EMC事業主任(京都グローバル)と京都の皆さんに挟まれての委員会。まず最初に河原直前主任より、前期の活動の報告を受け、引継書を受け取った。分厚目の引継書なのでゆっくり目を通すことにする。前期は思うように増員出来なかった上に、やはりドロップを阻止出来なかったのは大きな反省点とのこと。6月末の数字が揃うのは益明け位とのこと。

続いて今期の私小野から方針を説明した。まず書式の変更を説明。前期まではEMC集計は3か月毎であったが、実際に数字が揃うのは5か月後になり、それでは問題が出て対策が後手になる。従ってEMC集計の皆様にはご苦勞をかけるが、「毎月報告」の励行をお願いします。また、EMC事業は単年で終わるものではなく、「過去」から「現在」、「未来」への積み重ねが重要である。従って今期は「年度方針」に加えて「長期方針」と併設にした。最終的には継続性を強調したい。さらに、7年後にはワイズ100周年を迎える。2022年の100周年を目指し、Y's Men's Windows 100(→2022)の元年としたい。

続いて次期主任の山藤ワイズからの決意を説明いただいた。現在10月の次期役員研修会に向けて主題、方針を作成中で、決まり次第報告するとのことであった。



左から小野、山藤次期主任、河原直前主任

### EMC事業主査研修会

7月4日(土)午後からは会場を新大阪丸ビル会議室に移して、EMC事業主査研修会を持った。欠席のびわこ部、六甲部、西中国部を除く6部から主査さんが集まった。(同時に別室ではメネット事業主査研修会開催) 冒頭遠藤理事と正野書記からご挨拶を戴いた。前半は主任の私から書式等の説明

や、EMCシンポジウムの開催、方針、主題等の説明。各部各クラブの会員増減傾向か2022年に向けた具体的な実行計画を説明した。後半は各部からの主査の主題・方針を説明戴き、残りの時間で各部の問題点や苦勞されている課題について自由討議をして終了した。



### EMCシンポジウム(研修会)

EMCシンポジウムは元々京都部が発祥で、各部でも採用し実施してきた研修会である。六甲部でも私が主査の前々期より実施してきて定着しつつある。本来この研修会は部会に併設して、メネット会と同じ時間帯(部会の前)に開催されてきたが、当期の方針や活動のスタートとしてはやや遅い。望むらくは7月の部評議会に併せて開催。幸いにも九州部(7. 5)、瀬戸山陰部(7. 11)、六甲部(7. 25)が7月中に評議会に併せて開催。方針や活動計画の発表の後、活発なご意見をお聞きすることが出来た。詳細は西日本区HPのEMC事業の欄を閲覧戴きたい。

前期、前々期ともに会員数を減らしている中で、私は敢えて7年後の2022年に向けたY's Men's Windows 100(→2022)というアドバルーンを掲げました。それは今しか機会はないということと、まずは誰かが上げねばならないということからです。アジア地域大会でウィッチャン新国際会長から改めて「VISION 2022」が公表され、現在の30,000人を2022年には65%増の50,000人まで増員するというメッセージとも符合するものであり、タイミングとしても合致している。(詳細は同EMC事業通信を閲覧下さい)



夏期の小休止を経て、9月からはいよいよ長丁場の部会行脚が始まります。今期の5事業主任は共に9部会全出席の意欲で臨む決意が伝えられています。その間健康を維持して所期の目的を果たすべく今から心身の準備に当たっているところです。